嚶鳴フォーラム in 大野

歴史から未来へ——今、考えなければならないこと

ふるさとの先人を通して、まちづくり、人づくり、心そだてを目指す全国14自治体が一堂に会し、先人の知恵や経験から普遍的な人間の英知を再発見し、よりよい地域づくりへの道を共に学び、実現していくことを目的としたフォーラムです。記念すべき令和最初のフォーラムを大野町で開催。ふるってのご参加をお待ちします。

令和元年

11/16(土)

10:20▸12:00

大野町 総合町民センター ふれあいホール

●岐阜県揖斐郡大野町黒野 990 番地
TEL：0585-32-1111
●入場無料。事前申し込み不要
（定員 700 名。先着順）
●お問合せ　岐阜県大野町教育委員会生涯学習課
TEL：0585-34-1111

【講演】ふるさとの先人たちが、私たちに語りかけてくれること
童門冬二氏◎作家

【講演】令和の新時代に「美濃浪人」所郁太郎から何を学ぶか
所 功氏◎京都産業大学名誉教授

【フィナーレイベント】歴史から未来へ
【コメンテーター】**吉田公平**氏◎東洋大学名誉教授
【出演】嚶鳴協議会加盟自治体市町長、教育長

詳しくは【嚶鳴フォーラムHP】
https://www.tokai-arts.jp/oumei_forum/ をご覧下さい。

【主催】岐阜県大野町・大野町教育委員会　【主管】嚶鳴フォーラム in 大野実行委員会　【共催】嚶鳴協議会　【企画協力】㈱PHP研究所

※この事業は、令和元年度岐阜県清流の国ぎふ推進補助金を受けています。大野町

嚶鳴フォーラム in 大野　開催にあたって

宇佐美晃三◎大野町長

大野町は、濃尾平野の西北端にあり、西に揖斐川、東にその支流の根尾川が流れる、水と緑に囲まれた自然豊かな町です。町名の由来である「大野郡（おおのごおり）」は、天武天皇９（680）年の木簡を初出とし、明治30（1897）年に揖斐郡になるまで1200年以上の歴史があり、古代においては大野町一帯が「大野郡」の中心でした。そのため、国宝五大尊像や史跡野古墳群、碁盤の目のように広がる条里制の水田など、歴史的な文化遺産も豊富に残されています。

一方で、大野町は古代の大動脈である東山道が通過し、揖斐川・根尾川の水運が発達した交通の要衝で、情報伝達が早く人の往来もさかんでした。

所郁太郎、竹中半兵衛、野村洋三ら、大野町の先人たちに共通する、温和で信義に厚い人柄、旺盛な向学心、信念を貫く意志の強さと行動力は、このような風土の賜でしょう。

今年度、いよいよ東海環状自動車道（仮称）大野・神戸インターが開通の見込みです。新たな大動脈がもたらすこの絶好の機会を、まちづくり、人づくりにいかに活かすかが問われる今こそ、令和最初の嚶鳴フォーラムで「嚶鳴」の学びを共有したいと思います。皆様のご参加をお待ちしております。

コメンテーター

童門冬二氏
Doumon Fuyuji

昭和２（1927）年、東京生まれ。東京都広報室長、企画調整局長、政策室長等要職を歴任した後、昭和54（1979）年、都庁を去り作家活動に専念。在職中に培った人間管理と組織の実学を歴史と重ね合わせ、小説、ノンフィクションの世界に新境地を拓く。『暗い川が手を叩く』で第43回芥川賞候補。平成11（1999）年春の叙勲で勲三等瑞宝章受章。『小説上杉鷹山』『小説二宮金次郎』『小説細井平洲』『内村鑑三の「代表的日本人」』など著書は600冊以上。

所 功氏
Tokoro Isao

昭和16（1941）年、岐阜県揖斐川町生まれ。名古屋大学・同大学院修士課程卒（文学修士）。法学博士（慶応大学、日本法制文化史）。皇學館大学教員（助手・講師・助教授）、文部省教科書調査官を経て、昭和 56（1981）年から京都産業大学教授。平成 24（2012）年より京都産業大学名誉教授、モラロジー研究所教授、麗澤大学客員教授、皇學館大学特別招聘教授など。『伊勢神宮』『京都の三大祭』『「国民の祝日」の由来がわかる小事典』『元号』など著書多数。

吉田公平氏
Yoshida Kouhei

昭和17（1942）年、宮城県岩沼市生まれ。東北大学文学部卒業。九州大学助手、東北大学助教授、広島大学教授を経て東洋大学教授。平成25（2013）年より、東洋大学名誉教授。中国哲学・日本近世思想史専攻。「陽明学」を中心に西洋思想と比較、今日的な意義を探求する。著書に、『陸象山と王陽明』『日本における陽明学』『陽明学が問いかけるもの』『中江藤樹心学派全集』『王陽明「伝習録」を読む』『陽明学からのメッセージ』などがある。

嚶鳴フォーラムとは

嚶鳴フォーラムは、ふるさとの先人を、まちづくり、人づくり、心そだてに活かす全国各地の自治体が一堂に会して、先人の知恵や経験から普遍的な人間の英知を再発見し、よりよき地域づくりへの道を学び、実践していくことを目的としたフォーラムです。第13回目となる本年は、11月15日（金）～16日（土）の２日間にわたって、公開フォーラム、市町長・教育長合同会議、視察研修会等が大野町で開かれます。

【名称の由来】

「嚶鳴（おうめい）」とは中国最古の詩集『詩経』に出てくる言葉で、鳥が仲間を求めて鳴き交うという意味。転じて、仲間が集まり切磋琢磨しながら、ともに学び成長しあう姿を表します。名君・上杉鷹山の師として名高い愛知県東海市出身の儒学者・細井平洲が江戸に開いた塾を「嚶鳴館」と名づけたことでも有名です。

嚶鳴協議会

嚶鳴協議会は、恵那市、大野町、沖縄市、小田原市、釜石市、木曽町、多久市、竹田市、田原市、東海市、長野市、日田市、養父市、米沢市が加盟し、㈱PHP研究所が企画運営協力する協議会で、事務局は東海市教育委員会社会教育課に置かれています（令和元年度現在）。HP：https://www.tokai-arts.jp/oumei_forum/

会場アクセス

大野町総合町民センター

岐阜県揖斐郡大野町黒野 990 番地
TEL：0585-32-1111

●車……名神高速道路「岐阜羽島」IC から揖斐川堤防経由で約４０分
●公共交通機関…JR 大垣駅北口から約30分、JR 岐阜駅から約 50分、JR 穂積駅から約40 分。いずれも、「大野バスセンター」行き、終点で下車、徒歩３分。